

注射マニュアル

注射箋

1. 注射箋は4枚複写
2. 1枚目の白い伝票：薬剤科に提出
2枚目のブルー伝票：病棟のカーデックスに入れる
3枚目のピンク伝票：医事課に提出
4枚目の白い伝票：病棟用
3. 薬剤科にてIVHミキシングを必要とする場合は、IVH専用で1枚の注射箋にする。
4. 注射指示は処方に記載してある横のカレンダーに投与指示の日にちに -
をつけてもらう。
注射の指示が中止の場合は『 月 日 ~ off 』と明記する。

注射の払い出し

治療棟（A2 B2） 個人別1本出し

月・水・木曜日は、1日分払い出し 火・金曜日は、2日分を払い出す。

年末年始、ゴールデンウィークについてはその都度定める。

1. 薬剤科用の1枚目の伝票を、注射カートのボックスに1人1ボックスとして提出する。
2. カートは10時までに薬剤科に下ろす。但し、変更指示のありそうな患者の注射箋に関しては病棟でDrの指示を仰ぎ、11時までに薬剤科に下ろす。
3. 注射調剤者は、注射箋に従い投与日、投与ルート、投与順序を記載した患者氏名ラベルを輸液ボトル1本につき1枚打ち出し、配合変化等処方確認した後注射を調剤し、患者氏名ラベルを輸液ボトルに貼付する。ただし、アミグランド、イントラリポスなど輸液に直接添付しない患者氏名ラベルは、アンプル入れに入れる（15時以後に提出された場合、ラベルは無し）。
4. 監査者は、注射箋、注射、ラベルを監査し、監査終了後病棟に連絡する。
5. カートは14時までに病棟に払い出す（10時までに処方箋が出ている場合）。
6. ビスコリン、ネオラミンスリーピー、インスリンに関しては病棟ストックより使用し、未調剤である旨が病棟に分かるよう札を添付する。また、麻薬に関してもボックスに入れての払い出しは行わない。

7. 冷所薬品（リプル、マルタミン、エスポーなど）を調剤した場合は、注射ボックスに『冷』と記載した赤いビニールテープを貼り、病棟にて冷所保存を促す。

療養棟（C2 C3 B1）

月・水・木曜：1日分払い出し

火・金曜日は、2日分を払い出す

1. 注射箋は3時まで下りてくるので、5時のクラークさんのラウンドに間に合うよう揃えておく。
2. 注射箋により、注射を揃え、治療棟と同様輸液ボトルに患者氏名ラベルを貼付する。ただし、療養棟の場合はビスコリン、ネオラミンスリービーも調剤する。

療養の調剤に関しては

ペントシリン 注射用ピペラシリンナトリウム

ミノマイシン 塩酸ミノサイクリン を使用

抗生剤の溶解用生食は大塚生食 100ml を使用し、キットは使用しない。

5%ブドウ糖も同様である。

IVH 調剤

1. 火～金曜日の午後、IVH 混注の必要な注射箋を薬剤科におろす。月曜日はNs 管理夜勤者が8時30分までに薬剤科におろす。
2. 調剤者はIVH 本体を開通し、滴数数燈媽 * ヨ棉建佰き

薬剤請求書による払い出し

定時払い出し

A2:毎週木曜請求 金曜払い出し(休日の場合は、前日とする)

B2:毎週火曜請求 水曜払い出し(同上)

療養病棟は随時払い出しとする。A2.B2 についても臨時で随時払い出しをする。

年未年始、ゴールデンウィークについてはその都度定める。